

夜明けの時

松下幹生

あの時に 私が生きる
意義も希望も 消え去った

死ぬほどの 厳しい試練
耐えに耐え抜き 攻めて来た
明日のレース トップで入る
みんなの期待 背中に受けて
体制作り 万全で
スターターが 鳴り響く

スタンドで コーチの彼が
食い入るように 見つめてた
中盤迎え 調子伺う
スパートに出て 違和感の後
プチッと小さな 音がした
つんのめり 膝をつく

あの時に パリに行く日の
キップが露と 消え去った
愕然とした その時だった
コーチが走り 抱き上げた時
僕が守るさ 愛してる
気落ちせず 明日がある

夜明けの 때가 きっと来る！